

「唐丹希望基金 2020」EEC 通信 121 号 2020-12

—唐丹小中学生に届ける鎮魂と平和の思い—

心の旅「鎮魂と平和」

—平和の思い—

唐丹町の皆様

サック キャロル

丁度9年前に私は高館千枝子さんから大変珍しい招待をいただきました。大震災から9ヶ月のときでした。「岩手県の唐丹町というところと一緒に行きませんか？唐丹中学校と小学校の生徒達と職員の皆様にはハーブと歌声を祈りとして捧げませんか？」という招きでした。その時、私にとって大震災のことはほとんどテレビでしか知りませでしたが、2011年12月13日、初めて唐丹町を訪ねた日に、テレビ画面の二次元の経験が三次元で生きている現実的な体験と人間関係が生まれました。それで、人間にとって顔を合わせる事がどれほど大切で必要であることが分かりました。

また、もう一つ唐丹町の皆様から大切な学びがありました。もし「勇気」という言葉が顔を持っていれば、「勇気さん」は唐丹の生徒さん達の顔だと思います。「希望さん」も唐丹の生徒さん達の顔を持つ。皆さんと出会って、勇気と希望が概念ではなくて、現実存在する事を知りました。

私は唐丹町に7回も訪問することが許されました。

他に皆さんから学んだことが山ほどあります。私はアメリカ人としてみなさんの学校に受け入れていただいた事で、一生忘れられない沢山の経験をさせていただき、皆さんと深い絆で結ばれました。皆様、ありがとうございました。またお会いしましょう！世界は一つですから、勇気と希望の顔で生きていきましょう！

「皆様の上に神様の豊かな恵みと導きと愛が毎日ありますように！」

Let's live together in the world as the faces of courage and hope !

THANK YOU!!

AND GOD BLESS YOU ALL!!

サック キャロル

「サック キャロルさん、唐丹小・中学校訪問の記録」

(1) 2011年12月13日 第1回唐丹サントルチア祭

- ・唐丹サントルチア計画：http://www10.plala.or.jp/yasnoli/eec/report_019.pdf
- ・訪問写真集：<http://www10.plala.or.jp/yasnoli/eec/20111213/photo.html>
- ・唐丹小中学校全生徒の「リラプレカリア」の感想：http://www10.plala.or.jp/yasnoli/eec/report_020.pdf
- ・英語版（English）：<http://eec-2020.com/maituki/minnesota.pdf>

(2) 2012年12月13日 第2回唐丹サントルチア祭

- ・唐丹小中学生107名の手紙：<http://www10.plala.or.jp/yasnoli/eec/report-33.html>



(3) 2013年12月13日 第3回唐丹サントルチア祭



(4) 2016年6月23日（片川地区交流会）

(5) 2016年10月（唐丹小学校学習発表会）

(6) 2016年12月15日（クリスマス慰問）



(7) 2019年3月7日（ハソウ贈呈式）…→

[http://eec-](http://eec-2020.com/tushin/eec/104tushin.pdf)

[2020.com/tushin/eec/104tushin.pdf](http://eec-2020.com/tushin/eec/104tushin.pdf)